

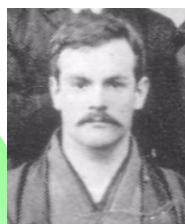
学びへの希求と師弟の関わりから生まれた 東西文化理解の知の泉 ヘルン文庫

1883年(明治16年) 富山県が石川県から分県

富山での公立中学や公立病院設置、洪水対策が可能となる

1885年(明治18) 富山県中学校(県立富山高校)創校
英語はもちろん、数学や歴史も英語で教えた

1888年 富山県初の お雇い外国人教師
C.L.ブラウネル ハーバード大学
等を経て来日。東京専門学校(現 早稲
田大学)で教え、1888年(明治21)~1890
年(明治23)来富。のちに、J.N.ウェルス A.
フォスターら6名が教える



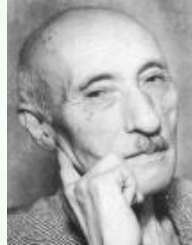
C.L.ブラウネル
富山や北陸などの体
験をもとに、1902年
『日本の心』をロン
ドンで出版

1923年(大正12)ブラウネルらに学んだ
三人の英文学者兄弟が
ヘルン文庫の誘致で協力

学習院大学教授 南日恒太郎(2回)
日本の英語教育の先駆者
旧制富山高等学校 初代校長として
ヘルン文庫の富山誘致を決意

学習院大学教授 田部隆次(5回)
小泉八雲の愛弟子として
『小泉八雲』など評伝・翻訳を執筆
ヘルン文庫の誘致で小泉家を説得

法政大学教授 田部重治(14回)
当初は小泉八雲蔵書の法政大学寄贈
を計画 後に兄恒太郎の意向に従う
『山と溪谷』など山岳随筆でも有名



世界において
日本文化の
紹介と解明を
めざした



ラフカディオ・ハーン

愛称 ヘルンさん
日本人名 小泉八雲

1890年(明治23)来日。
松江中学・熊本高等学校・
東京帝大・早稲田大で教える。
『日本の面影』『怪談』
『神國日本』など著書多数。
没後、貴重な蔵書の保管先が
懸念された。

東京帝大でのハーン
の教え子 田部隆次



馬場はる寄付による 富山県の教養教育の拠点

1923年(大正12) 旧制富山高等学校 創校
日本海側最大級の総合大学 富山大学の原点



ピエリアの泉 ヘルン文庫 創設

小泉八雲の蔵書など 2435冊収蔵 他
南日文庫や中土文庫など関連図書も充実
世界から研究者が訪れ、新発見が続く